事業②	サッカーチームと連携したまちの魅力向上事業	担当課 総合政策部政策企画課
総合戦略における位置付け	基本目標2:新しいひとの流れをつくる 施策1:都市ブランドの推進 基本目標4:時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する 施策5:地域で支えあえる環境づくり	

【関連する数値目標(KPI)及び実績】

項目		事業開始前 (令和2年度)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市に愛着と誇りを感じている市民の割合	目標	—	53	54	55
	実績	38.2	37.6	—	—
市に住み続けたいと感じている市民の割合	目標	—	58	59	60
	実績	41.2	45.1	—	—
社会動態の転入者／転出者の率	目標	—	94	96	98
	実績	81	88.5	—	—

	実施内容	参考指標	事業費(千円)
令和5年度 実施事業	<p>(1) 令和5年度実施事項 令和4年度実施のUR南花台団地集約事業跡地活用に伴う基本計画を基に、(仮称)南花台中央公園整備工事の基本・実施設計業務を実施した。 設計業務と並行して令和4年度に引き続き、市の附属機関として学識経験者や地域住民代表等で構成される「河内長野市UR南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会」を計8回開催して、新たなサッカースタジアム併設の公園とまちの魅力向上や活性化について議論を行った。 7月には令和4年度に決定した土地評価額に基づき、整備工事を行う事業用地を購入の上、公有財産として登記を完了した。 サッカーチームとの連携では、河内長野市民デー、まちづくりフォーラム、ウェルカムイベント等を実施した。</p> <p>※令和5年度より寄附金充当開始の(仮称)南花台中央公園整備事業への充当額については次のとおり。 設計業務委託費99,000千円、用地購入830,723千円への充当額238,033千円</p> <p>(2) 企業版ふるさと納税受領額 198,500千円(34社)</p>	<p>○公園整備に関する住民説明会、自治会役員説明会(4/22、7/29、8/27他)</p> <p>○跡地活用におけるワークショップを複数回実施。 ・参加人数延べ250人</p> <p>○公園整備予定地で公園活用体験型サロンを実施。(7/15、12/10) ・参加人数350人</p> <p>○河内長野市民デー実施(7/1、9/3) ・参加人数100人程度</p> <p>○サッカーチームと連携したまちづくりフォーラム実施(11/23) ・参加人数約150人</p> <p>○スペランツァ大阪ウェルカムイベント実施(2/10) ・参加人数200人程度</p>	929,723
	(合計)	929,723	

	【令和5年度評価】	【令和5年度の評価内容】
担当者評価	②相当程度効果があった	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度より企業版ふるさと納税寄附金を事業費の一部財源として充当を開始し、複数年度に渡る事業において市の実質負担なくハード整備が実施可能である。 ・ 寄附を媒体にした公民連携により、参画企業のメリットが期待できる。 ・ 立案当初より企業版ふるさと納税を活用した取り組みとしては注目度が高く、事業自体の周知に貢献している。 ・ 数々の行事等により、地域住民含め寄附金により施設整備が進んでいくことへの関心と共に、機運上昇にも繋がってきている。

評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

	【今後の課題・取組みなど】
改善	<p>寄附金充当業務は令和5年度から実施となった。ハード整備への充当として令和8年までを予定。事業の効果は地域住民が施設を活用することで出現することから、ワークショップなどで体験していただき、様々な意見を取り入れ、地域交流が生まれる場を創造していく。</p> <p>現在寄附の集まりが伸び悩んでいるため、公園施設等整備後の企業メリットや連携についても積極的に宣伝し、企業との関係性をより密に創り上げる必要がある。</p>

	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
委員会評価	<p>取組事業が総合戦略における位置付け・関連するKPI達成のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する 	